

新しい降灰予報が始まります

山々では雪も解け、高山植物が花を咲かせ登山に適した季節となって来ました。最近では登山ブームで山に登られる方も多いと思います。皆さんが、登られる山のなかに火山があることをご存知でしょうか。北海道には31の活火山があり、うち雌阿寒岳・十勝岳・樽前山・有珠山・北海道駒ヶ岳の5火山は火山活動の状況に応じた「警戒が必要な範囲」を踏まえて防災機関や住民等のとるべき行動を5段階に区分する「噴火警戒レベル」の発表対象火山です。

現在、登山規制があるレベルとなっている火山は北海道にはありませんが、平成26年9月の御嶽山の噴火により大勢の方が被害にあう痛ましい災害が発生しました。

今回は、そうした火山に登る際に参考にしていただくため、新しくなった「噴火予報」についてご紹介します。

気象庁では、平成20年3月から「降灰予報」の運用を開始しています。これは日本国内の火山で一定規模以上の噴火が発生した場合に、おおむね6時間先までに降灰が予想される地域を発表するものでした。その後の研究で、降灰の量についても予測が可能になり、平成27年3月から、これまでの降灰予報をバージョンアップし、より詳細な情報を伝える新しい降灰予報を開始しました。

新しい降灰予報では、大きく次の3点が変更となっています。

まず第1点として、従来は「いつ、どの地域」に火山灰が降るかという、地域に関する内容でしたが、新しい降灰予報では、「いつ、どの地域に、どのくらい」、火山灰が降るのかの降灰の量的予想を加えた内容となります。

第2点として、従来は噴火後に予報を発表していましたが、新しい降灰予報では「噴火前、噴火直後、噴火後」の3段階に分けて予報を発表します。

第3点として、降灰が予想される地域は、これまで都道府県ごとに発表されていましたが、新しい降灰予報では「市町村ごと」に発表します。

降灰予報が発表されると、気象庁ウェブサイト内の「防災情報」などに記載されるほか、気象庁から報道機関などに情報提供されますので、テレビやラジオなどでも知ることができます。

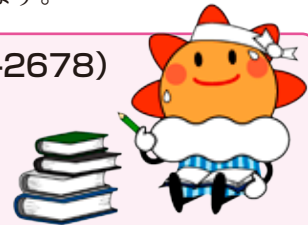
気象状況・天気予報の確認先 稚内地方気象台 (電話:0162-23-2678)

※稚内地方気象台ホームページURL

<http://www.jma-net.go.jp/wakkanai/index.html>

※問い合わせ先

稚内地方気象台(電話:0162-23-2679)



四月定例俳句会作品

幌延ほおずき俳句会

思ひ切り缶を蹴る光や春うらら

藤岡 美美

うららかや日々の彩あり散歩道

横山 貞雄

うららかに弾む会話の老女かな

熊谷千恵子

うららかや川水ふくれ流れゆく

富樫とも子

手を上げて渡る歩道や春うらら

三浦 宮吉

うららかや久しく洗車して来たり

佐藤 光朗

うららかや野は瘡蓋かさぶたを剥がしつつ

田中 徹男